

新体育館・防災公園

整備かわら版

No.02

令和5年7月発行



■ 整備敷地の地質調査を行いました

ボーリング調査等の結果、体育館等の建築や防災公園としての利用に支障がないことが確認できました。

＜液状化検討結果＞

検討地点	液状化指数 (P_L)		
	水平加速度 1.5m/s ² (震度5強)	水平加速度 2.0m/s ² (震度6弱)	水平加速度 3.5m/s ² (震度6強)
①	0.00	0.00	2.44
②	0.00	0.00	4.46
③	0.00	0.00	2.45
④	0.00	0.00	0.28
⑤	0.00	0.00	0.77

＜ P_L の評価基準＞

液状化指数 (P_L) : 地盤全体の液状化程度を示す指数	液状化危険性
$P_L=0$	かなり低い
$0 < P_L \leq 5$	低い
$5 < P_L \leq 15$	高い
$15 < P_L$	極めて高い

液状化危険性：かなり低い 低い

「土と基礎 Vol.28 地震時の地盤液状化程度の予測について：地盤工学会」



ボーリング調査の様子

■ 工事の状況について

現在、造成工事の準備として盛土の受け入れを行っています。今年度の下半期から本格的な造成工事を開始する予定です。



盛土受入整備工事の様子



盛土受入整備工事の様子

■ 市議会議員や市職員を対象にPPP/PFI（官民連携）勉強会を実施しました

より効率的な事業実施を目指し、民間活力導入手法※について調査しています。その一環として専門業者や大学教授を招いて勉強会を開催しました。会場では活発な質疑応答が行われました。

※公共事業を行う際に、民間がもつノウハウを活用することによって、安くても質の高い公共サービスを効率的に提供する手法。代表的な事業手法としてPFI方式（Private-Finance-Initiative）がある。



勉強会の様子

Q：PPP/PFIを検討する際の事業費の目安は？

質疑応答抜粋

A：施設整備費10億円以上とされている。

Q：民間からの提案が市のイメージに合ったものになるのか？

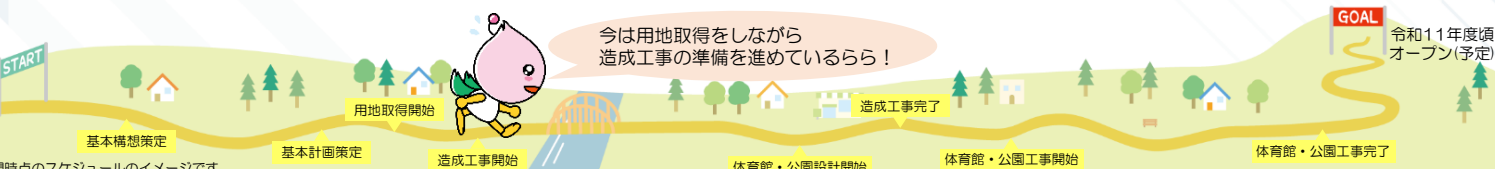
A：必ず守ってほしい部分を要求水準書に明記する。最も優れた民間提案を選定し、協議して設計を進めていくことになる。

Q：PFI事業で品質が低下することはないか？

A：そのようなことはなく、適切なモニタリングを実施していく。

■ 国土交通省の補助について

前回発行のかわら版（No.01）で防衛省の補助決定についてお知らせしましたが、令和5年度に入り国土交通省からの補助も受けられることになりました。今後も財源確保に努めていきます。



新体育館・防災公園の整備については、[市ウェブサイト](#)（左記の二次元コード）で公開しています。ご覧ください。

発行 各務原市役所 教育委員会事務局 教育施設整備推進室
TEL 058-383-7302（直通） FAX 058-389-021